

# 一人っ子の自主性と子供から見た養育 態度に関する研究 —中国と日本との比較—

筑波大学心理学系 松原 達 哉

筑波大学大学院（博）教育学研究科 鄧 秀

A study of only-children's independence and the parents' child-rearing attitude —A comparison between China and Japan—

Tatsuya Matsubara (*Institute of Psychology, University of Tsukuba, Tsukuba 305, Japan*) and  
Deng Xiu (*Graduate School of Education, University of Tsukuba, Tsukuba 305, Japan*)

The purpose of the study is to make clear whether there is any differences between only-children and un-only-children in their independence and their parents' child-rearing attitude, then the relationship between these two factors. The survey was conducted among 328 Chinese and 339 Japanese junior high school students. The results were: I only-children are less independent than un-only-children, II only-children's parents showed stronger tendencies in the attitude of strictness, interference, blind obedience and dotage both in China and in Japan, III the stronger these tendencies are, the less children are independent, IV the structure of family members had influences in children's independence, V a great difference could be seen in Children's independence and their parent's child-rearing attitude between China and Japan.

Key words : only-children, independence, parents, child-rearing attitude

## はじめに

現在、世界中で悩み、問題となり、なんとかして解決しなければならぬとされている課題の1つは人口の急増をどのようにして食い止めたらいいかということである。世界の人口の5分の1を占め、現在すでに11億人を越えている中国は、1970年代の後半から「一組の夫婦に子供一人」という人口抑制政策がとられている。現在まで、中国の一人っ子の数は、4千万人余りになっている。

日本は世界の趨勢とは逆に、子供の数は減少傾向にあり、合計出生率をみると、昭和60年には1.76と二人を割ってしまっている。日本も中国も少子化の時代、つまり一人っ子の多い時代を迎えている。

今から百年近くも前に、アメリカにおける児童心理学の父と言われ、一人っ子研究の始祖でもあるスタンレー・ホール (Hall, S.) は「一人っ子であることは、すでにそれだけで一つの病気である。」<sup>1)</sup> “To be

an only child is a disease in itself”と云って、一人っ子をマイナスの性格の多いものとした。一人っ子の増加する現代において、一人っ子が問題を抱えやすいか、その原因を検討することは、重要かつ意義のあることと思われる。

## 目 的

子供の数の減少によって生じた結果はいろいろある。親の子供への期待が大きくなり、過干渉、過保護、過教育になりやすい。こうした親に育てられると、子供は依頼心が強く、忍耐力に欠け、いつも親を頼りにするため、自主性がなく、自己抑制力が身に付かない、社会生活能力の低い子になりがちであると言われている。

本論文は中国と日本の一人っ子の自主性と子供から見た親の養育態度との関係について、非一人っ子と比較しながら研究する。

①一人っ子の自主性の実態を明らかにすること、  
 ②一人っ子の親の養育態度を分析し、その実態を明らかにすること、  
 ③一人っ子の自主性の形成と親の養育態度及び家族構成などとの様な関係があるかを明らかにすること、  
 ④自主性と親の養育態度について、中国と日本双方の類似点及び相違点を見いだすことを本研究の具体的な目的としている。

## 方 法

### 1. 予備調査

#### (1) 調査内容

##### ① フェースシート

フェースシートは学校名、学級、性別、年齢、健康状態、兄弟数、両親の年齢、家族構成、両親の最終学歴、父親の職業の有無と種類、母親の職業の有無と種類から構成された。

##### ② 自主性調査

中学生の自主性を捉え、測定するための項目は、藤原、石川の「自主性診断検査」、長島、山崎の「適応性診断検査」、正木、依田の「適応指導検査」、松原の「社会成熟度診断検査」などを参考にし、中国の実情も考え合わせ、中国と日本両国とも使えるものになるように作成された。具体的には、自主性の概念規定に基づき、自主性の構成要因を設定し、独立性、主体性、能動性、自己判断、自己統制、自律性、実行力という7つのカテゴリーを想定し、各領域から5-8項目、計50項目で構成された。

##### ③ 親の養育態度調査

親の養育態度の調査は、品川の「親子関係診断検査」(子供用)を参考にし、自主性の育成と関係があり、中国の中学生も適用できるように、筆者が内容を検討し、作成された。調査内容とする親の養育態度は厳格型、期待型、干渉型、不安型、盲従型、溺愛型という6つのタイプの24項目から構成された。

##### ④ 評価

自主性調査、親の養育態度とともに、各項目は4段階に評定した。すなわち“いつも”は3点、“ときどき”は2点、“たまに”は1点、“ない(しない)”は0点にした(反転項目は逆の得点)。

#### (2) 調査対象

日本の中学校1年生76名、(男子37名、女子39名)、中国の中学生1年生8名(男子4名、女子4名)を対象に実施した。

#### (3) 調査期間

中国：昭和63年6月中旬

日本：昭和63年6月下旬

#### (4) 調査方法

質問紙法による一斉調査を行った。

#### (5) 調査の結果

① フェースシートについて、先生の方から生徒に親の学歴、職業を書かせるのは生徒を差別する可能性があると言われ、親の学歴、職業の項目を除去した。

② 親の養育態度の調査項目は、父親と母親の態度について別々に答えるように要求したが、父親と母親の態度について全く同じように答えてしまった生徒が多かった。筆者は調査用紙の解答欄を改善し、区別しやすく、回答しやすいようにした。

以上2つの結果は中国、日本とも同じ傾向がみられた。

### 2. 本調査

#### (1) 調査内容

予備調査を行った結果に基づき、本調査の内容及び問題数は次のようである。

フェースシートは学校名、学級、性別、年齢、健康状態、家族構成、兄弟数、両親の年齢等から構成された。

自主性の調査は7領域に分け、各領域にはそれぞれの問題数が6-8問ずつで計50項目から構成された。

親の養育態度の調査は6タイプの24項目から構成された。

#### (2) 調査期間

中国 1988年7月上旬

日本 1988年7月中旬-10月中旬

#### (3) 調査対象及び人数

中国の中学校1年生328名、日本の中学校1年生339名を対象にした。これらの中の同胞数別の人数は次のTable 1~2のように示されている。

#### (4) 結果の処理

回収された調査用紙の各項目の反応得点を整理・分類し、筑波大学の大型コンピューターFACOMM-6658を用いて、因子分析、t検定、クロンバック $\alpha$ 係数、ピアソン相関係数などによる分析を行なった。

Table 2 日本の調査対象数

兄弟数	一人っ子	二人っ子	三人兄弟以上子	合計
人数	53	151	135	339
男子	23	78	66	167
女子	30	73	69	172

Table 1 中国の調査対象数

兄弟数	一人っ子	二人っ子	三人兄弟以上子	合計
人数	73	170	85	328
男子	42	73	39	154
女子	31	97	46	174

## 結果及び考察

### 1. 一人っ子の自主性に関する研究

一人っ子の自主性と非一人っ子の自主性とは差があるかどうかを検討し、比較した。

比較の方法は、一人っ子群と二人っ子群、一人っ子群と三人兄弟以上子群、という2つのグループにわけ、自主性項目の答えに基づいて、それぞれ群の総合得点分布、因子別、さらに項目別の平均値、標準偏差を検討した。得点が高いと、子供が自主性のある傾向が強い。逆に、得点が高いと、子供は自主性のない傾向が強い。

#### (1) 自主性尺度の因子分析と信頼性の検討

中国、日本両国、合計667名のデータを用いて、自主性尺度の50項目に対する評定間の相関行列に基づいて、主因子法による因子分析を行い、結果をバリマックス回転した。固有値の変動状況を考慮にいれ、第6因子まで抽出した。その結果がTable 3である。6因子の全体に対する寄与率は32%であった。各因子はその性質によりFactor Iは「意志決定因子」、Factor IIは「自己表現因子」、Factor IIIは「生活態度因子」、Factor IVは「自己主張因子」、Factor Vは「家庭での態度因子」、Factor VIは「判断力因子」と命名された。

項目分析より、項目数をFactor I 9項目、Factor II 8項目、Factor III 7項目、Factor IV 5項目、Factor V 3項目、Factor VI 5項目、全部37項目に選定し、

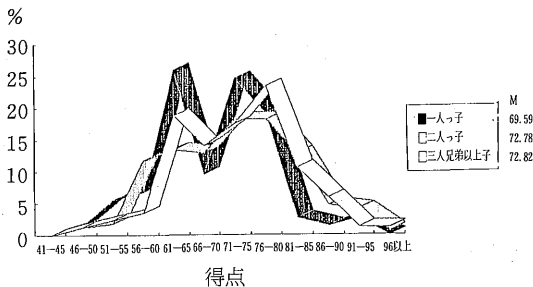


Fig. 1 中国の一人っ子の自主性尺度の得点分布

6つの下位尺度で最終的な尺度とした。

さらにそれぞれの因子の信頼性はクロンバックの $\alpha$ 係数により求めたところ、Factor Iで0.82, Factor IIで0.70, Factor IIIで0.50, Factor IVで0.75, Factor Vで0.68, Factor VIで0.55の値を得た。以上により、Factor Vの値がやや小さいが、6つの下位尺度とも一応信頼性を満たすものと考えられよう。

#### (2) 一人っ子と非一人っ子の自主性尺度の総合得点分布の比較

中国と日本一人っ子の自主性尺度の総合得点分布はFig. 1とFig. 2に示される。

中国の一人っ子の得点分布は非一人っ子より、やや低い傾向とやや高い傾向の両極性が見られる。分布図がM型になっている。日本の一人っ子の自主性尺度の得点分布図を見ると、やや低い方に偏っていると分かった。

#### (3) 一人っ子と非一人っ子の自主性因子別の比較

中国の一人っ子と二人っ子、三人兄弟以上子の自主性について、因子別に見ると、Fig. 3とFig. 4に示されている。

二人っ子、三人兄弟以上子とも、意志決定因子を除いて、一人っ子より各因子においても得点が高い。

日本の一人っ子と二人っ子、三人兄弟以上子の自主性を因子別の比較はFig. 5~6に示されている。

二人っ子の方が6つの因子の得点とも、一人っ子より高い傾向が見られた。三人兄弟以上子は、一人っ子より、意志決定因子の得点が高いが、他の5つの因子のいずれの場合も三人兄弟以上子の自主性が高いと示されている。

#### (4) 一人っ子と非一人っ子の自主性項目別の比較

一人っ子と非一人っ子の自主性について比較した。中国では自主性の37項目の中で、一人っ子が、二人っ子より得点が高いのは10項目あった。いずれも有意差は認められなかった。二人っ子が一人っ子より得点の高い項目は27ある。有意差が認められたのは6項目ある。一人っ子は三人兄弟以上子より、得点の

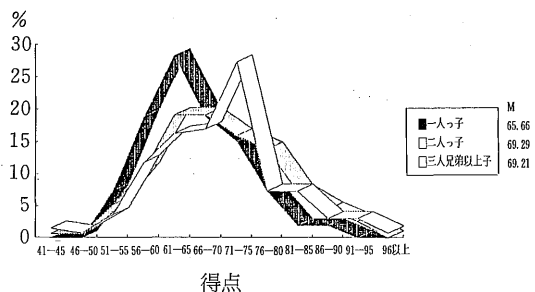


Fig. 2 日本の一人っ子の自主性尺度の得点分布

Table 3 自主性尺度因子分析

No.	項目内容	F1	F2	F3	F4	F5	F6	h <sup>2</sup>
1	自分のよいところと悪いところが気がつく	.51	.10	-.04	.04	.06	-.00	.28
2	自分がやろうとすることが、人に迷惑になるかどうかよく考えてからする	.50	.21	.07	-.05	.15	.02	.36
3	自分のよくないところは治すようにいつも心がけている	.46	.08	.02	.01	.11	-.08	.32
4	いろいろ工夫して自分にあった勉強法を見つけようとしている	.40	.23	.11	.08	.06	.01	.45
5	自分の欠点を言われた時、本当にそうかと考える	.39	.14	-.03	.01	-.03	-.01	.27
6	好きでない人でも、困っていれば助けてあげる	.38	.17	.11	.09	.05	.01	.27
7	友達にあやまちを許してあげることができる	.35	.03	.11	.00	.02	-.00	.27
8	もっと遊びたいと思っても、しなければならぬことがあると、止められる	.30	.08	.24	-.11	.08	.10	.30
9	して良いか悪いか一人で決められる	.28	-.05	-.15	-.17	-.05	-.04	.26
10	学級の話合いの時意見を進んで言う	.11	.60	-.06	.05	.04	.04	.40
11	先生や目上の人にも、自分の考えを進んで言う	.14	.59	.04	.02	.03	-.02	.42
12	進んで係を引き受ける	.23	.38	-.04	.00	.09	-.07	.28
13	やったことがないことも進んでやりたい	.23	.33	.09	.03	.03	.03	.31
14	冗談を言って友達を笑わせる	.10	.32	-.03	.04	.10	-.05	.24
15	新しい工夫をして遊びたい	.09	.30	-.02	.08	.02	-.11	.22
16	先生や親に見てもらわなくても、まじめに勉強をしつづける	.24	.28	.07	.00	.13	.02	.44
17	自分がやろうと思った事は誰が何を言ってもやり通す	.14	.25	.09	-.01	.03	.04	.19
18	悪いと思ったら二度としないように努力する	.10	.01	-.60	-.11	.01	-.02	.52
19	知らない子でも話しかけて友達になる	.07	.30	-.47	-.12	-.14	-.07	.40
20	夢中になってする遊びがある	-.19	.15	-.39	-.08	-0.9	-.04	.36
21	頼まれた仕事は一生懸命にする	.29	.08	.36	.09	.18	.02	.35
22	朝起こされないと、なかなか起きられない	.05	.01	.33	.13	.04	.04	.17
23	決められた時間になれば自分で寝ようとする	.11	.09	.25	-.03	.17	.06	.26
24	人のまねをしないで、自分で考えて行動する	.18	.18	.25	-.03	.03	.08	.21
◆25	意見が違うと心配で皆と同じにする	.07	.11	.26	.56	.08	.15	.46
◆26	大勢の人が賛成すると正しいと思う	-.02	.05	-.02	.42	-.04	.07	.19
◆27	よく考えず友達の言葉をすぐ信じる	.09	-.06	.23	.40	.14	.17	.39
◆28	自分の意見を言えずに、相手に従ってしまう	.08	.07	.36	.41	-.01	.01	.47
◆29	人から頼まれれば、よく考えないで引き受けてしまう	.06	-.14	.21	.36	.05	.03	.31
30	自分の身の回りのことは、親や家族の世話にならないで、自分で始末する	.12	.10	.02	-.01	.25	.02	.29
31	家の仕事を進んで手伝う	.20	.10	.16	.01	.40	.14	.42
32	家の人と約束したことを守る	.23	.11	.19	.12	.32	.10	.37
◆33	自分一人でやることを自分だけでは不安なので友達と一緒にすることが多い	.10	-.08	.11	.06	.04	.54	.39
◆34	自分の事を決めるのに、人に相談して決める	-.04	-.07	.11	.17	-.04	.41	.24
◆35	意見を言う時どう思われるか気になる	-.11	.12	.08	.20	.10	.39	.29
◆36	笑われると思って意見を言わないことがある	-.02	.25	.16	.23	-.01	.31	.36
◆37	だめと言われるとすぐやる気をなくす	-.03	-.00	.29	.32	.00	.20	.18
寄与率		11.5	7.2	4.2	4.3	3.0	2.8	
累積寄与率		11.5	18.6	22.8	26.1	29.2	32.0	

◆印は反転項目で、逆の得点を与えた

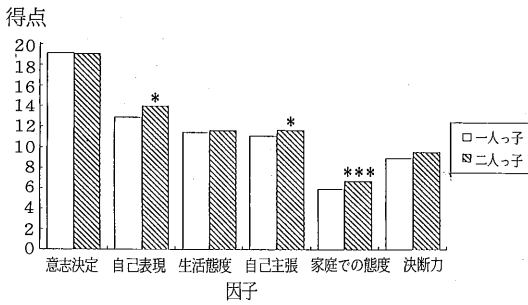


Fig. 3 中国の一人っ子と二人っ子の自主性の比較

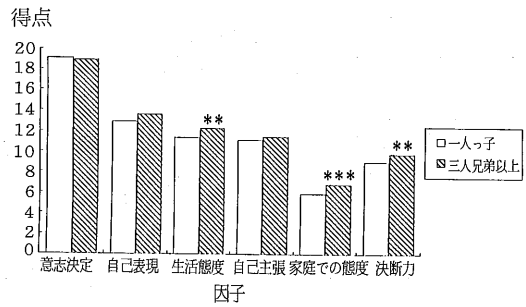


Fig. 4 中国の一人っ子と三人兄弟以上子の自主性の比較

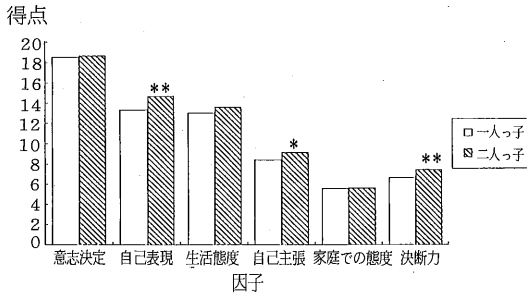


Fig. 5 日本の一人っ子と二人っ子の自主性の比較

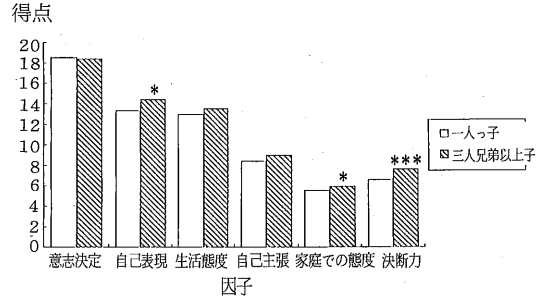


Fig. 6 日本の一人っ子と三人兄弟以上子の自主性の比較

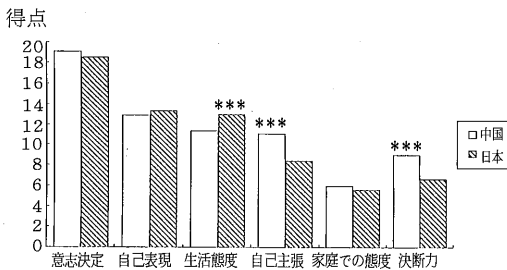


Fig. 7 中国と日本の一人っ子の自主性の比較

高いのは10項目あり、有意差が認められたのは、1項目である。三人兄弟以上子は一人っ子より得点の高い項目が25ある。有意差の認められたのは、8つの項目である。

日本では自主性尺度の37の項目の中で、一人っ子の得点が高いのは11項目あり、二人っ子の得点が高いのは25項目あり、1項目は両群と同じ得点を得ていた。有意差の認められたのが9項目あり、いずれも二人っ子の方が高い。一人っ子は三人兄弟以上子より、13項目の得点が高いが、有意差が認められたのは1項目もない。三人兄弟以上子は一人っ子より得点の高い項目が24あり、有意差が認められたのは9項目がある。

(5) 中国と日本の一人っ子の自主性の比較

中国の一人っ子と日本の一人っ子について6つの自主性因子を比較した。結果をFig. 7に示す。

中国の一人っ子は意志決定因子、自己主張因子、家庭での態度因子及び判断力因子において、日本の一人っ子より得点が高い。有意差が認められたのは自己主張因子、判断力因子である。日本の一人っ子は自己表現因子と生活態度因子においては、中国の一人っ子より高く、生活態度因子においては有意差が認められた。

中国の一人っ子と日本の一人っ子の自主性の各項目の平均得点はTable 3のようである。

37項目の中で、中国の一人っ子の得点の高い項目は25ある。その中、有意な差が認められたのは18項目ある。日本の一人っ子の得点が高いのは12項目あり、その中有意差の認められたのは7項目である。

(6) 考察

以上の結果、中国の一人っ子の自主性は非一人っ子に比べて、低い傾向がみられた。一人っ子の自主性の得点分布図はM型であり、これはムハチェックとトレーメルの研究、「一人っ子の行動の特徴は非常に極端なものに偏っている」と報告しているのに類似しており、中国の一人っ子の自主性もやや両極性にあると言えよう。

Table 3 項目別自主性について中国と日本の一人っ子の平均の比較

No.	項目	China N=73	Japan N=53	DIFF C-1 1
1	自分のよいところと悪いところに気がつく	2.06	2.32	-0.26*
2	自分がやろうとすることが、人に迷惑になるかどうかよく考えてからする	2.10	1.85	+0.25*
3	自分のよくないところは治すよういつも心がけている	2.38	2.30	+0.08
4	いろいろ工夫して自分にあった勉強法を見つけようとしている	2.08	1.94	+0.13
5	自分の欠点を言われた時、本当にそうかと考える	2.04	2.28	-0.24
6	好きでない人でも、困っていれば助けてあげる	1.88	1.53	+0.35**
7	友達のあやまちを許してあげることができる	2.37	1.98	+0.39***
8	もっと遊びたいと思っても、しなければならぬことがあると、止められる	2.10	1.96	+0.14
9	して良いか悪いか一人で決められる	2.12	2.38	-0.26*
10	学級の話合いの時意見を進んで言う	1.03	1.15	-0.13
11	先生や目上の人にも、自分の考えを進んで言う	1.55	1.42	+0.12
12	進んで係を引き受ける	1.40	1.42	-0.02
13	やったことがないことも進んでやりたい	2.08	1.92	+0.16
14	冗談を言って友達を笑わせる	1.89	2.09	-0.20
15	新しい工夫をして遊びたい	1.52	1.92	-0.40**
16	先生や親に見てもらわなくても、まじめに勉強をしつづける	1.81	1.74	+0.06
17	自分がやろうと思った事は誰が何を言ってもやり通す	1.66	1.70	-0.04
18	悪いと思ったら二度としないように努力する	0.96	2.43	-1.47***
19	知らない子でも話しかけて友達になる	0.79	1.96	-1.17***
20	夢中になってする遊びがある	0.89	1.77	-0.88***
21	頼まれた仕事は一生懸命にする	2.64	1.96	+0.68***
22	朝起こされないと、なかなか起きられない	1.89	1.11	+0.78***
23	決められた時間になれば自分で寝ようとする	1.95	1.72	+0.23*
24	人のまねをしないで、自分で考えて行動する	2.30	2.06	+0.24**
◆25	意見が違くと心配で皆と同じにする	2.33	1.53	+0.79***
◆26	大勢の人が賛成すると正しいと思う	1.70	1.50	+0.20
◆27	よく考えず友達の言葉をすぐ信じる	2.40	1.66	+0.74***
◆28	自分の意見を言えずに、相手に従ってしまう	2.47	1.91	0.56***
◆29	人から頼まれれば、よく考えないで引き受けてしまう	2.23	1.85	+0.38**
30	自分の身の回りのことは、親や家族の世話にならないで、自分で始末する	1.67	2.00	-0.33***
31	家の仕事を進んで手伝う	1.93	1.47	+0.46***
32	家の人と約束したことを守る	2.37	2.13	+0.24*
◆33	自分一人ですることを自分だけでは不安なので友達と一緒にする	1.58	1.06	+0.52***
◆34	自分の事を決めるのに、人に相談して決める	1.75	1.22	+0.53***
◆35	意見を言う時どう思われるか気になる	1.77	1.38	+0.39**
◆36	笑われると思って意見を言わないことがある	1.71	1.47	+0.24
◆37	だめと言われるとすぐやる気をなくす	2.21	1.54	+0.67***

◆印は反転項目で、逆の得点を与えた。

\* $p < .10$  \*\* $p < .05$  \*\*\* $p < .01$ 

日本の一人っ子の総合得点は、中国と同様で、非一人っ子より低い。分布図は概ね正規分布をなし

ており、両極性は見られなかった。

一人っ子は自主性のどのような領域においても低

いのかを検討するため、さらに、それぞれの因子と項目について考察した。

因子分析別に考察すると、一人っ子の自主性は中国も日本も非一人っ子より低い傾向が見られた。自己表現因子、生活態度因子、自己主張因子、家庭での態度因子、判断力因子の5因子において一人っ子は、劣っていることがわかった。意志決定因子においては、一人っ子はやや優れているが、著しい差異は認められなかった。

さらに、項目別に考察すると、一人っ子が著しく劣っているのは、家族と密接な関係にあることである。例えば「自分の身の回りの事は、親や家族の世話にならないで、自分で始末する」、「家の仕事を進んで手伝う」、「朝起こされないと、なかなか起きられない」などの項目において、いずれも一人っ子は自主性が低い。また、一人っ子は家庭で兄弟のいない孤独な生活をしているから「夢中になってする遊びがある」、「新しい工夫をして遊びたい」などのことにおいても自主性の低い傾向が見られた。これは、ネーテルの一人っ子の特異性発生の2つの条件説、つまり、一人っ子の特異性は、おもに親の養育態度の誤りから生じるものと家庭における特定の教育要素（兄弟の欠如によって起こる特異性）とであるとべているが、それと同様の原因と考えられる。

中国と日本の一人っ子の間にも、大きな差異が見られる。これは文化の差異によって、親の養育態度にも差異があるから、同じ一人っ子であっても、自主性において差異があるのは必然と考えられる。

2. 一人っ子の親の養育態度に関する研究

一人っ子群と二人っ子群、一人っ子群と三人兄弟以上子群のそれぞれのグループの親の養育態度について、総合得点分布、因子別項目別の平均、標準偏差の検定を行い、検討した。親の養育態度については、得点が高いと、親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強く、逆に、得点が低いと、このような傾向が弱い。

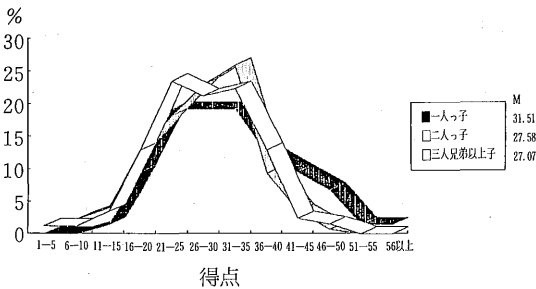


Fig. 8 中国の一人っ子の親の養育態度尺度の得点分布

(1) 親の養育態度尺度の因子分析と信頼性の検討

中国及び日本の子供から見た親の養育態度の調査から、合計667名のデータを用いて因子法を用いて固有値1を目標に因子の抽出を行ったところ、4因子が見いだされた。これにバリマックス回転を施した結果がTable 4である。

なおこの4因子で、全分散の41.4%を説明する。Factor Iは「厳格因子」、Factor IIは「干渉因子」、Factor IIIは「盲従因子」、Factor IVは「溺愛因子」と命名された。この4因子に基づいて、Factor I 9項目、Factor II 5項目、Factor III 5項目、Factor IV 4項目に選定され、4つの下位尺度で最終の尺度とした。

それぞれの尺度の信頼性はクロンバックの $\alpha$ 係数を用いて計算したところ、Factor Iの厳格尺度で0.72、Factor IIの干渉尺度で0.63、Factor IIIの盲従尺度で0.54、Factor IVの溺愛尺度で0.60の値を得た。4つの下位尺度はともに信頼性が得られたと考えられる。

(2) 一人っ子の養育態度の得点分布

中国と日本の一人っ子の親の養育態度尺度の得点分布は、Fig. 8~9に示す。

中国の一人っ子の親は、非一人っ子の親に比較して得点の特に高い者が多い。日本の一人っ子の親は、得点の特に低い者はいないが、得点の高い者がやや多い。

(3) 一人っ子と非一人っ子の親の養育態度因子別の比較

Fig. 10~13に示されるように。

中国の一人っ子の親は、全因子について得点が高く、いずれも有意差が認められた。日本の一人っ子と二人っ子の養育態度の得点は、4つ下位尺度のすべてにおいて有意差が認められなかった。一人っ子の親は三人兄弟以上子の親より、4つの下位尺度のいずれにおいても高い得点を示している。

(4) 一人っ子と非一人っ子の親の養育態度項目別の比較

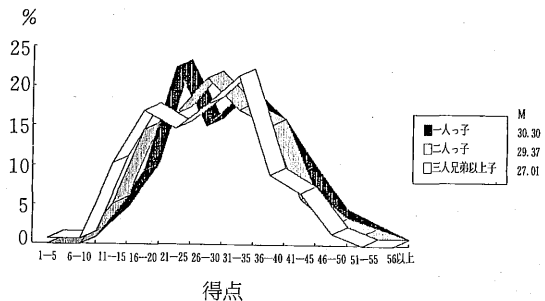


Fig. 9 日本の一人っ子の親の養育態度尺度の得点分布

Table 4 親の養育態度尺度因子分析

No.	項 目	F1	F2	F3	F4	h <sup>2</sup>
1	漫画, 映画, 遊びなどを, いちいちやかましく注意される	.62	.18	-.05	.02	.43
2	礼儀, きまり, 勉強などをやかましく言われる	.58	.10	-.03	-.07	.40
3	両親が勉強ばかりさせようとして, 遊ぶ時間を与えてくれない	.54	.04	.13	-.15	.34
4	あなたは, 叱られるばかりで, あまりほめられないと思う	.47	-.07	.06	-.19	.28
5	両親は, あなたの成績が悪くなりはいかないかと気をもんでいる	.47	.22	.15	.05	.41
6	あなたの友達のことを両親は, やかましく言う	.45	.15	.15	.06	.33
7	「勉強しなさい」と言われる	.42	.17	.10	.07	.22
8	両親はあなたに言いつけたことは絶対させる	.39	.13	-.08	.10	.27
9	両親は, 他のことより, あなたの学校や, 勉強のことに熱心だ	.30	.21	.17	.19	.56
10	「こういうことをしてはいけない」「ああいうことをしてはいけない」と, 言われる	.25	.65	.06	.08	.53
11	悪い友達と, 悪い遊びをしないように, 注意される	.11	.49	.05	.17	.30
12	あなたは, 何かと言うと, 両親から「危ないから」, 「病気になるから」とすぐ止められる	.22	.48	.21	.12	.47
13	あなたの身の回りの事を, 家で両親は, うるさいほど世話してくれる	.20	.36	.26	.18	.28
14	あなたを立派な人にするために両親はどんなことでもしてくれる	.11	.30	.20	.18	.37
15	きまりになっていることでも, あなたが「いやだ」といえば両親は許してくれる	-.04	.07	.61	-.00	.39
16	あなたが, ねだれば, 両親は, 高いものでも買ってくれる	.01	.15	.47	.14	.29
17	両親はあなたのきげんをとったりちやほやしたりする	.17	.03	.46	.14	.27
18	しつこくねだると, 両親は最後にはあなたの言うことを聞いてくれる	.11	.03	.37	.14	.22
19	友達とけんかする時, 両親はあなたをかばってくれる	.02	.15	.30	.23	.18
20	両親は, 勉強でも遊びでも, あなたのすることは何でも相手になってくれる	-.05	.03	.07	.64	.47
21	あなたの宿題や作った物には, 両親が, 目を通したり手伝ったりしてくれる	.11	.03	.37	.51	.30
22	少しのけがや, 病気でも, 両親はとても心配して, てあてをしてくれる	-.06	.28	.20	.41	.32
23	両親は, あなたの世話をしたり, あなたと一緒にいるのを, 何よりの楽しみにしているようだ	-.10	.12	.11	.40	.40
	寄 与 率	19.5	10.4	6.5	5.0	
	累 積 寄 与 率	19.5	29.9	36.4	41.4	

中国の一人っ子と二人っ子, 一人っ子と三人兄弟以上子の親の養育態度項目別の比較の結果はほぼ同じで, 一人っ子の親の得点が高い方に偏っており, 全項目の23項目の中, それぞれ19項目と18項目の得点は二人っ子と三人兄弟以上子の親より高い, 日本の一人っ子の親は二人っ子の親より, 得点がやや高い方に偏っている. 三人兄弟以上子の親よりも, 得点が高い方に偏っており, 23項目の中18項目に一人っ子の親の得点が高い.

#### (5) 中国と日本の一人っ子の親の養育態度の比較

中国の一人っ子と日本の一人っ子の親の養育態度を比較した結果をFig. 14とTable 5に示す.

干渉を除いて, 全ての尺度で有意差があった. 中国の一人っ子の親は, 日本の一人っ子の親より厳格と盲従で高い, 日本の一人っ子の親は溺愛で高い.

項目別にみると, 23項目の中で, 中国の一人っ子の親の得点が高いのは12項目あり, その中, 有意差が認められたのは8項目ある. 日本の一人っ子の親の得点が高い項目は11あり, 有意差が認められたのは, 8項目ある.

#### (6) 考察

以上の結果を考察すると, 中国の一人っ子の親の養育態度の総合得点は非一人っ子より高い傾向が見られる. 日本の一人っ子の親の養育態度の総合得点



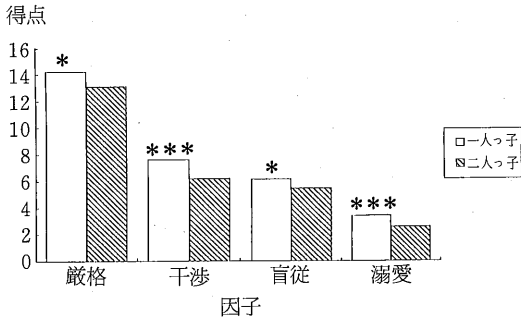


Fig. 10 中国の一人っ子と二人っ子の親の養育態度の比較

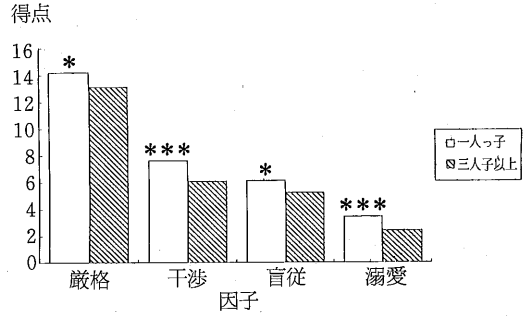


Fig. 11 中国の一人っ子と三人兄弟以上子の親の養育態度の比較

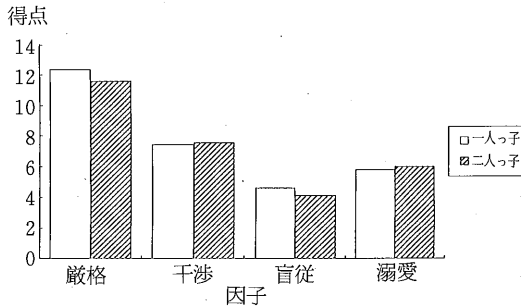


Fig. 12 日本の一人っ子と二人っ子の親の養育態度の比較

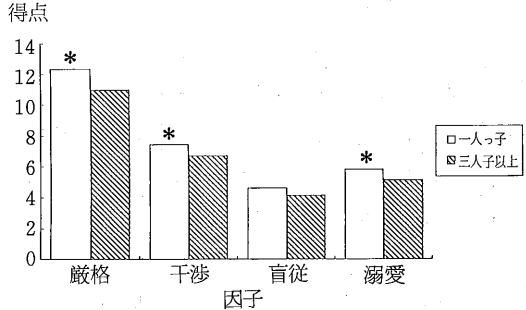


Fig. 13 日本の一人っ子と三人兄弟以上子の親の養育態度の比較

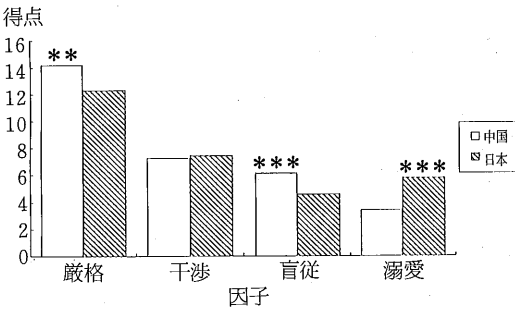


Fig. 14 中国と日本の一人っ子の親の養育態度の比較

は二人っ子と比較すると、あまり差はないが、三人兄弟以上子と比べるとかなり差が出ている。全体的に見ると、中国も日本も一人っ子の親は、なんらかの面で問題性をより多く持っていることが指摘されよう。その親の養育態度の問題性がどこにあるのか、これから、親の養育態度のそれぞれの因子及び項目について考察する。

中国の一人っ子の親は非一人っ子の親と比較すると、厳格と盲従の傾向があり、干渉と溺愛の傾向がかなり強い。中国では「一人っ子政策」がとられているので、自分の子供の数を自分で決めるわけでは

ないから、たった一人の子供に対して親はすべての夢をかけているのである。特に、いま12-13歳の子供を持っている親は、彼らの青春時代は1966年から1976年までの中国の10年間の文化大革命の混乱時期で無駄に過ごしてしまっていた。勉強、進学、出世のチャンスはなかったし、経済的にも苦しかったから、自分が得られなかったものを、できる限り、自分の唯一の子供に与えてやりたい、自分の実現のできなかった夢を自分の唯一の子供に実現させたいと念願している。親達は子供の上にそれを実現させることによって、自分の心理的な満足を得たいと望んでいるので、子供を溺愛し過ぎ、期待し過ぎる傾向がある。今日の中国の一人っ子の親の養育態度の多くの問題の原因は、ここにあると言えよう。

日本の場合は、一人っ子と二人っ子の親の間に有意な差が認められなかったが、一人っ子と三人兄弟以上子とを比較すると、厳格、干渉、溺愛において、一人っ子の親の方が強い。

日本では国定の産児制限はないが、現在の家族の多く特徴は、一人っ子、二人っ子家族が主流を占めており、少子化時代とも言われている。子供の数が減少したために、親の関心や注意が少数の子供に集

Table 5 中国と日本の一人っ子の親の養育態度の項目別の平均の比較

No.	項目	China(C) N=53	Japan(J) N=53	DIFF C-J t
1	漫画, 映画, 遊びなどを, いちいちやかましく注意される	2.14	0.89	+1.25***
2	礼儀, きまり, 勉強などをやかましく言われる	2.30	1.89	+0.41**
3	両親が勉強ばかりさせようとして, 遊ぶ時間を与えてくれない	1.70	0.90	+0.16
4	あなたは, 叱られるばかりで, あまりほめられないと思う	1.18	1.34	-0.16
5	両親は, あなたの成績が悪くなりほしくないかと気をもんでいる	2.37	1.43	+0.94***
6	あなたの友達のことを両親は, やかましく言う	0.73	0.81	-0.08
7	「勉強しなさい」と言われる	1.01	1.87	-0.86***
8	両親はあなたに言いつけたことは絶対させる	1.12	1.70	-0.58***
9	両親は, 他のことより, あなたの学校や, 勉強のことに熱心だ	2.30	1.52	+0.78***
10	「こういうことをしてはいけない」「ああいうことをしてはいけない」と言われる	1.41	1.87	-0.46***
11	悪い友達と, 悪い遊びをしないように, 注意される	2.70	1.92	+0.78***
12	あなたは, 何かと言うと, 両親から「危ないから」, 「病気になるから」とすぐ止められる	1.62	1.30	+0.32*
13	あなたの身の回りの事を, 家で両親は, うるさいほど世話してくれる	0.59	0.83	-0.24*
14	あなたを立派な人にするために両親はどんなことでもしてくれる	1.30	1.53	-0.30*
15	きまりになっていることでも, あなたが「いやだ」といえば両親は許してくれる	1.10	0.85	+0.25
16	あなたが, ねだれば, 両親は, 高いものでも買ってくれる	1.23	1.21	+0.02
17	両親はあなたのきげんをとったりちやほやしたりする	0.56	0.55	+0.01
18	しつこくねだると, 両親は最後にはあなたの言うことを聞いてくれる	1.90	1.47	+0.43**
19	友達とけんかする時, 両親はあなたをかばってくれる	1.38	0.57	+0.81***
20	両親は, 勉強でも遊びでも, あなたのすることは何でも相手になってくれる	0.60	1.11	-0.51***
21	あなたの宿題や作った物には, 両親が, 目を通したり手伝ったりしてくれる	0.81	1.53	-0.72***
22	少しのけがや, 病気でも, 両親はとても心配して, てあてをしてくれる	1.41	1.57	-0.16
23	両親は, あなたの世話をしたり, あなたと一緒にいるのを, 何よりの楽しみにしているようだ	0.67	1.62	-0.95***

\* $p < .10$  \*\* $p < .05$  \*\*\* $p < .01$

中しており, 過保護, 過干渉といわれている現象の原因はここにあると考えられる。

中国の一人っ子と日本の一人っ子を比較すると, 中国の一人っ子の親は, 厳格と盲従の傾向が有意に強い。これに対して, 日本の親は溺愛の傾向が有意に強い。両国の一人っ子の親の養育態度にも大きな違いが見られた。

中国では「竜になれ」(大人物になること)という伝統的な考え方があり, ところが自分が竜になるチャンスを文化大革命などの混乱の時代に育った一人っ子の親達は, 一層その願望は強い。中国の親は, 子供の能力以上に学力の上昇を期待し, 子供の勉強を激励し, ひいては子供の高学歴取得を望んでいる人が非常に多い。しかし, 中国の現在の経済は, 日本よりかなり遅れており, 大学の数が少ないから,

進学試験の競争が日本よりもっと激しい。だから, 中国の一人っ子の親は日本の一人っ子の親以上に子供に厳しい教育をさせていると考えられる。

また, 中国の一人っ子の親は, 自分の子供時代が苦しかったので, 現在, 豊かになってから, 子供の要求をなんでも満足させるのが子供への愛であるかのようにと思っている親も少なくない。これが中国の親の盲従の原因であると考えられる。

しかし日本と違って, 中国の女性は殆ど働いており, 女性は家事, 育児に専念すべき時代が終ってしまい, 女性も社会の中で役に立ち, 仕事は女性の生甲斐のもっとも重要な部分になっている。日本では専業主婦が多く, 家事と育児に専念するのは女性が一番大事なことである。また, 電気製品によって, 家事をする時間も減少している。日本の母親は中国

の母親より時間的にも、心のゆとりも多いから、子供を過干渉、溺愛しやすいと考えられる。

### 3. 一人っ子の自主性と親の養育態度及び家族構成との関係

(1) 一人っ子の自主性と親の養育態度との相互関係  
一人っ子の自主性と親の養育態度との関係を検討するため、中国の一人っ子と日本の一人っ子のデータを用いて、国別に自主性の6尺度と親の養育態度の4尺度との相関をピアソンの相関関係によって求めた。その結果は、Table 6~7に示す。正の相関の場合は、親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強ければ、子供の自主性が高い。負の相関の場合は、親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が弱ければ、子供の自主性が高い。

中国では有意な相関が認められたのはすべて負の相関である。日本では、意志決定因子においては、有意な正の相関が認められたのが多いが、他の因子においては有意な負の相関が認められたのが多い。

#### (2) 一人っ子の自主性上位群と下位群の親の養育態度の比較

自主性尺度の因子別の合計点の頻度によって、それぞれ上位31%を上位群、下位31%を下位群として、各グループの親の養育態度の平均値、標準偏差を求め、検討した結果はTable 8~9に示す。

中国では有意差が認められたのは、すべて自主性

下位群の親で、厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強い。日本では、意志決定因子と自己表現因子において自主性上位群の親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強く、有意差も認められた。自己主張因子と判断力因子においては、上位群の親は厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が低く、有意差が認められた。

#### (3) 一人っ子の家族構成と自主性との関係

一人っ子の研究は単なる一人っ子であることだけを抜き出すことや非一人っ子と比較することだけでは不十分である。同じ一人っ子でもその家族構成と彼らの自主性との関連に対する考察は、もっとも重要な課題であり、必要であると考えられるのである。

##### ① 一人っ子の両親の有無と自主性

ここでは一人っ子の両親有と両親無、両親有と父子家庭、両親有と母子家庭、父子家庭と母子家庭という4つのグループにわけ、これらの違いによって、子供の自主性に違いがあるかどうかについて検討した。結果はTable 10~11に示す。

中国では、全体的に見ると、両親有の子は、両親無の子より自主性が高い、父子家庭の子は両親有の子より自主性が高い、母子家庭の子は父母有の子より自主性が高い。日本では、両親無の子は両親有の子より自主性が高い、父子家庭の子は両親有の子より自主性が高い、母子家庭の子は両親有の子より自主性が高い、母子家庭の子は父子家庭の子より自主性が高い。

Table 6 中国の一人っ子の自主性尺度と親の養育態度尺度との相関

(N=73)

自主		意志決定因子	自己表現因子	生活態度因子	自己主張因子	家庭での態度因子	判断力因子
厳格		.02	.07	-.19*	-.22**	-.14	-.16*
干渉		-.00	-.02	-.10	-.03	-.17*	.07
盲従		.14	.10	-.19*	-.17*	-.15	-.04
溺愛		-.05	.06	-.12	-.13	-.11	-.18*

\*  $p < .10$  \*\*  $p < .05$  \*\*\*  $p < .01$

Table 7 日本の一人っ子の自主性尺度と親の養育態度尺度との相関

(N=53)

自主		意志決定因子	自己表現因子	生活態度因子	自己主張因子	家庭での態度因子	判断力因子
厳格		.09	.15	0.10	-.14	.03	-.20*
干渉		.20*	.11	.10	-.26**	.03	-.04
盲従		.07	-.01	.01	-.32***	-.02	-.36**
溺愛		.30***	.24*	-.13	-.52**	.13	-.16

\*  $p < .10$  \*\*  $p < .05$  \*\*\*  $p < .01$

Table 8 中国の一人っ子自主性上位群 (H) と下位群 (L) の親の養育態度の比較

(N=50)

養育態度 M SD		厳 格		干 渉		盲 従		溺 愛	
		M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
自主性	H								
	L								
	DIFF								
意志決定因子	H	13.35	4.00	7.65	2.45	6.58	2.90	3.50	2.44
	L	14.20	4.55	7.65	3.25	6.10	3.88	3.10	3.06
DIFF	t	-0.85		0		+0.48		+0.40	
自己表現因子	H	14.55	4.86	7.65	3.03	6.80	3.52	3.35	2.76
	L	14.19	3.69	8.31	3.05	5.31	3.30	3.38	2.94
DIFF	t	+0.36		-0.66		+1.49		-0.03	
生活態度因子	H	10.57	3.60	5.29	2.00	3.43	1.81	3.00	2.58
	L	14.74	4.51	7.51	2.55	6.34	3.43	3.54	2.61
DIFF	t	-4.17***		-2.20**		-2.91***		-0.54	
自己主張因子	H	12.51	3.81	6.70	2.20	4.86	2.53	2.95	2.27
	L	14.67	3.97	5.89	1.76	6.22	3.83	3.78	2.86
DIFF	t	-2.16*		+0.81		-1.36		-0.83	
家庭での態度	H	14.20	3.96	7.80	2.85	5.67	2.98	3.67	2.72
因子	L	14.94	4.82	8.00	2.92	6.59	3.54	3.82	2.94
DIFF	t	-0.74		-0.20		-0.92		-0.15	
決断力因子	H	14.02	3.98	7.73	2.47	6.04	2.89	3.10	2.14
	L	16.78	3.90	8.00	2.96	8.11	3.44	4.11	2.85
DIFF	t	-2.76***		-0.27		-2.07**		-1.01	

\*  $p < .10$  \*\*  $p < .05$  \*\*\*  $p < .01$ 

が高い。

## ② 一人っ子の祖父母の有無と自主性

一人っ子の祖父母有と祖父母無、祖父母有と祖父のみ、祖父母有と祖母のみ、祖父のみと祖母のみという4つのグループにわけ、これらの違いによって、子供の自主性に違いがあるかどうかについて検討した。結果はTable 12~13に示す。

中国では、祖父母無の子は祖父母有の子より自主性が高い、祖父のみ有の子は祖父母有の子より自主性が高い、祖母のみ有の子は祖父母有の子より自主性が高い、祖父のみ有の子は祖母のみ有の子より自主性が高い。

日本の一人っ子の祖父母の有無と子供の自主性との関係は、全体的に見ると、中国の一人っ子の祖父母の有無と自主性との関係に類似としている。

## (4) 考察

子供から見た親の養育態度と彼らの自主性とはどのような関係になっているのか、以上の結果を考察する。

## ① 一人っ子の自主性と養育態度の相関

中国では、親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強いと、子供の自主性が低くなるということは、因子間の相関が殆ど負の相関であって、しかも有意な相関があったのはすべて負の相関であることから、明らかであった。前述の如く中国の一人っ子の親の養育態度は、二人っ子、三人兄弟以上子より、厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強いから、一人っ子の自主性が低いということは関係があると考えられる。

日本では、全体的に言うと、親の厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強いと、子供の自主性が低い。これも有意な相関が認められたのは、負の相関が多いことから明らかであった。しかし、溺愛については意志決定因子と自己表現因子と正の関係になっている。つまり、親が溺愛傾向が強ければ、子供の意志決定と自己表現の自主性が高くなる。これは今度の調査において、子供の目を見た親の養育態度であるから、親は子供のそばにいて相手をしたり、些細なことでも誉めたりすると、子供は親に悪い印象をもたないので、子供は自分が愛され、大切にされていると思って、何でも遠慮なく、自分の言いたいこと

Table 9 日本の一人っ子自主性上位群 (H) と下位群 (L) の親の養育態度の比較

(N=40)

養育態度 M SD		厳 格		干 渉		盲 従		溺 愛	
		M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
自主性	H								
	L								
	DIFF								
意志決定因子	H	11.69	5.15	7.85	3.67	5.46	3.60	7.38	3.23
	L	11.63	4.15	7.11	3.05	4.74	2.31	5.37	2.77
	t	+ 0.06		+0.74		+0.72		+2.01*	
自己表現因子	H	12.89	4.77	7.68	3.48	4.47	3.04	6.00	2.65
	L	10.17	3.26	5.89	2.32	4.11	2.65	4.17	2.92
	t	+ 2.72*		+1.79*		+0.36		+1.83**	
生活態度因子	H	12.47	3.50	7.59	3.50	4.38	3.37	5.41	3.37
	L	11.44	6.38	6.94	2.24	4.56	2.16	6.63	3.46
	t	+ 1.03		+0.65		+0.32		-1.22	
自己主張因子	H	11.92	5.13	6.50	3.18	3.42	2.47	3.58	2.07
	L	14.50	5.21	8.59	3.58	5.32	2.73	7.32	2.98
	t	- 2.58*		+2.09*		-1.90**		-3.74***	
家庭での態度因子	H	12.27	5.39	6.60	2.53	4.33	3.20	5.73	3.47
	L	11.58	5.25	6.83	2.59	5.17	2.52	5.25	3.02
	t	+ 0.69		-0.23		-0.84		+0.48	
決断力因子	H	10.65	4.33	7.00	2.35	4.06	2.88	5.35	3.24
	L	12.86	6.13	7.24	3.83	5.71	2.99	6.52	2.79
	t	- 2.21		-0.24		-1.65*		-1.17	

\*  $p < .10$  \*\*  $p < .05$  \*\*\*  $p < .01$ 

Table 10 中国の一人っ子の両親の有無と自主性

(N=73)

自主性 両親	意志決定 因子	自己表現 因子	生活態度 因子	自己主張 因子	家庭での 態度因子	決断力 因子	合 計
父 母 有	18.94	12.96	11.51	11.06	5.99	9.07	69.53
父 母 無	19.00	11.00	8.00	13.00	4.00	6.00	61.00
DIFF	-0.06	+1.96	+3.51	+1.94	+1.99	+3.07	+8.53
父 母 有	18.94	12.96	11.51	11.06	5.99	9.07	69.53
父 子 家 庭	20.50	12.50	12.50	10.00	7.50	7.00	70.00
DIFF	-1.56	+0.46	-0.99	+1.06	-1.51	+1.43	-0.47
父 母 有	18.94	12.96	11.51	11.06	5.99	9.07	69.53
母 子 家 庭	24.50	13.50	9.00	13.50	5.00	10.50	76.00
DIFF	-5.56	-0.54	+2.51	-2.44	+0.99	-1.43	-6.47
父 子 家 庭	20.50	12.50	12.50	10.00	7.50	7.00	70.00
母 子 家 庭	24.50	13.50	9.00	13.50	5.00	10.50	76.00
DIFF	-4.00	-1.00	+3.50	-3.50	+2.50	-3.50	-6.00

Table 11 日本の一人っ子の両親の有無と自主性

(N=53)

自主性 両親	意志決定 因子	自己表現 因子	生活態度 因子	自己主張 因子	家庭での 態度因子	決断力 因子	合計
父母有	18.37	13.49	12.65	8.27	5.33	6.51	64.62
父母無	24.00	19.00	16.00	7.00	6.00	7.00	79.00
DIFF t	-5.63	-5.52	-3.35	+1.28	-0.67	-0.49	-14.38
父母有	18.37	13.49	12.65	8.27	5.33	6.51	64.62
父子家庭	15.00	11.67	13.00	11.00	7.00	8.00	65.67
DIFF t	+3.37	+1.82	-0.35	-2.73	-1.67	-1.49	-1.05
父母有	18.37	13.49	12.65	8.28	5.33	6.51	64.62
母子家庭	20.67	12.33	15.16	8.66	6.83	7.17	70.82
DIFF t	-2.30	+1.16	-2.51	-0.38	-1.50	-0.66	-6.20
父子家庭	15.00	11.67	13.00	11.00	7.00	8.00	65.67
母子家庭	20.67	12.33	15.16	8.66	6.83	7.17	70.82
DIFF t	-5.67	-0.66	-2.00	+2.33	+0.17	+0.83	-5.15

Table 12 中国の一人っ子の祖父母有無と自主性の平均

(N=73)

自主性 祖父母	意志決定 因子	自己表現 因子	生活態度 因子	自己主張 因子	家庭での 態度因子	決断力 因子	合計
祖父母有	20.33	11.00	10.33	12.00	5.33	8.00	66.99
祖父母無	18.75	12.73	11.46	10.84	6.29	8.96	69.03
DIFF t	+1.58	-1.7	-1.13	+1.16	-0.96	-0.90	-2.04
祖父母有	20.33	11.00	10.33	12.00	5.33	8.00	66.99
祖父のみ	20.16	14.83	12.16	12.33	5.00	9.83	74.31
DIFF t	+0.17	-3.83	-1.83	-0.33	+0.33	-1.83	-7.32
祖父母有	20.33	11.00	10.33	12.00	5.33	8.00	66.99
祖母のみ	20.63	13.63	11.00	11.88	4.75	9.12	71.01
DIFF t	-0.30	-2.63	-0.67	+0.12	+0.58	-1.12	-4.02
祖父のみ	20.16	14.83	12.16	12.33	5.00	9.83	74.31
祖母のみ	20.63	13.63	11.00	11.88	4.75	9.12	71.01
DIFF t	-0.46	+1.20	+1.17	+0.45	+0.25	+0.70	+3.30

を言ったり、やりたいことをやったりする傾向があるだろう。

## ② 一人っ子の自主性上位群と下位群の親の養育態度

中国の自主性上位群の養育態度は、自主性下位群の親と比べて、厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が弱い。これにより、自主性の下位群の親は、自主性の上位群の親より、養育態度に問題があることが指摘される。

日本では、自己主張因子と決断力因子において、自主性上位群の親は、自主性下位群の親に比べて、厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が弱い。しかし、意志決定因子と自己表現因子において自主性上位群の親は、自主性下位群の親に比べて、厳格、干渉、盲従、溺愛の傾向が強い。これは子供の自己主張と判断力の欠如は、望ましくない親の養育態度によって生じたともいえよう。しかし、意志決定と自己表現は、親の養育態度の影響より子供の性格の影響の方

Table 13 日本の一人っ子の祖父母有無と自主性の平均

(N=53)

自主性 祖父母	意志決定 因子	自己表現 因子	生活態度 因子	自己主張 因子	家庭での 態度因子	決 断 力 因子	合 計	
祖 父 母 有	18.14	13.29	11.86	8.86	5.14	6.29	63.85	
祖 父 母 無	18.56	12.78	13.42	8.58	5.75	6.72	65.81	
DIFF	t	-0.42	+0.51	-1.56	+0.28	-0.61	-2.23	
祖 父 母 有	18.14	13.29	11.86	8.86	5.14	6.29	63.58	
祖 父 の み	17.00	17.00	16.00	7.00	7.00	4.00	68.00	
DIFF	t	+1.14	-3.71	-4.14	+1.86	-1.86	+2.29	-4.42
祖 父 母 有	18.14	13.29	11.86	8.86	5.14	6.29	63.58	
祖 母 の み	19.00	15.33	12.00	7.78	5.22	7.11	66.44	
DIFF	t	-0.86	-2.04	-0.14	+1.08	-0.08	-0.82	-2.86
祖 父 の み	17.00	17.00	16.00	7.00	7.00	4.00	68.00	
祖 母 の み	19.00	15.33	12.00	7.78	5.22	7.11	66.44	
DIFF	t	-2.00	+1.67	+4.00	-0.78	+1.78	-3.11	+1.56

が強いのか、あるいは、もっと別の要因を考えるべきかは、これだけの資料では何も言うことができない。今後の検討が必要であろう。

## ② 家族構成と一人っ子の自主性

家族構成と一人っ子の自主性との関係は、中国と日本の両国とも両親の有無のほかは、全く同じような傾向が見られた。これは中国、日本の文化の違いを乗り越え、一人っ子の家族構成は子供の自主性に同じような影響を与えていると言えよう。

## 今後の課題と展望

本研究において見いだされたいくつかの結果をもとに、今後の課題について検討し、問題点を指摘して置く。

1 中国の「一人っ子政策」は、今後も継続することが予想されているので、一人っ子は引き続き増えることは言うまでもない。日本も、一人っ子の数は年々増えている。一人っ子の研究としては、自主性だけでなく、さらに、広範囲にわたる一人っ子の社会生活、性格などの面にも的を当てて、研究することが必要であろう。

2 本研究における親の養育態度の調査方法は、子供の目を見た親の養育態度であった。子供が見た親の養育態度と親の実際の養育態度との間には、ずれがあるかもしれない。従って、親の養育態度を親が自分で評価する方法によって調査研究することも必要であろう。

3 発達の視点を重視することである。本研究では中学校1年生の自主性と彼らの見た親の養育態度との関係について研究した。しかし、親の養育態度も子供の自主性も児童期青年期によって発達の違ってくる。例えば、大学生、つまり、青年期に入ったら、親の養育態度が、自主性に影響を与えるかどうかは疑問もあろう。こうしたことから、今後発達の視点からもっと継続的研究をすることが必要であろう。

## 引用及び参考文献

- 加藤隆勝 1973 特別活動と自主性の育成 明治図書
- 児玉省 1970 子供のしつけと性格—乳幼児から中学期まで フレーベル館
- 詫摩武俊 1983 ふたりっ子の時代 朝日出版社
- 人民中国 編集部 1988 中国の人口事情—問題点と解決策 《人民中国》 人民中国雑誌社, 420, 34-39.
- 中塚善次郎 1988 障害児に対する両親の養育態度因子とその両親間における類似性 教育心理学研究, 36, 57-65.
- 松原達哉 1984 ひとりっ子症候群 旺文社
- 森和代 1988 児童中期の自主性と原因帰属, 教育心理学研究, 36, 45-50.
- 山下俊郎 1981 ひとりっ子 その心理と教育 同文書院
- 依田明 1973 ひとりっ子 自主性をどう育てるか

光文社  
依田明 福島章編 1981 二人っ子家族の親はな  
れ・子離れ 有斐閣新書 pp. 2-12  
依田明 1980 ひとりっ子ははたして幸福か 小此

木啓吾 小川捷之編 臨床社会心理学 I 自律と  
依存 現代のエスプリ別冊 至文堂 pp. 63-77  
—1989. 9 .30受稿—